

## 編集者のことば

本号は、共同研究「大都市の地域経済構造の変化に対応した環境の保全創造に関する総合的研究」の特集号である。

本共同研究は一応、都市経済、都市社会、都市環境と3つのグループに分かれて研究を行っているが、基礎となる専門分野が異なる研究者が都市環境という同じ研究対象に関してさまざまなアプローチを行っており、本号においても同様の研究課題にたいして複数の異なる分野からの研究報告がなされている。

平山論文と桐谷論文はともに都市における焦眉の問題であるごみ問題を扱ったものである。平山論文はごみ焼却の際に発生する二酸化炭素の排出を高めるために、熱利用の効率を高め、ごみのエネルギーを有効に利用し、化石燃料の使用を抑制するための対策などを考察したものである。一方、桐谷論文は東京23区内のごみ処理問題の現状と対策について収集された情報、素材、研究資料、討論およびいくつかの実体調査の成果を経済学的見地で資料的かつ学習的に展望し、基本的な問題点を整理したものである。

続く3論文は景観に関する異なる分野からのアプローチである。増山他論文は、心理学的アプローチによる景観評価を試みたものであり、東京の景観のスライドに対する印象がより風景に専門的とみなせる大学生グループとそうでないグループとで違いがであることを示している。杉浦他論文は、地理学に基礎を置く手法によるものである。東京区部とその周辺の8公園の風景写真を見せてそれに対する知覚データと選好データを基に PREFMAP による分析を行っている。その結果、都市公園に対する知覚と選好の間には強い対応関係のあることを明らかにしている。落合他論文は化学的景観学と呼んでいるように水質汚濁に対する景観評価を化学的手法により行ったものであり、アワを指標とした景観と水質の関係について考察したものである。

三上他論文は住宅団地における都市内気候の状況を気象観測データに基づいて分析ならびに考察したものであり、中高層の住宅団地においてはヒートアイランド現象がみられることを示している。特に丘陵地の尾根部に建てられた住宅団地でこの現象が顕著であることを示している。

浅見他論文、吉川論文はともに土地利用に関するものである。浅見他論文は枢要形状存在仮説を実際の戸建て住宅用画地のデータを用いて統計的に検証したものである。吉川論文は都市の土地利用変化をミクロに分析するための道具立てとして、敷地の土地利用転換を多項分布によってモデル化する方法について検討したものである。

永井他論文は、都市地域経済環境の変化の中で、有配偶女性の家事に対する意識を調査した結果についての考察であり、既婚女性の妻として、母として、というような意識の相違によって家事の形態が異なることを示している。

続く2論文は本共同研究とは独立に投稿されたものである。AVELIN 論文はいわゆるバブルといわれた時期の東京とパリについて土地価格を中心に調査した結果、2都市には非常に多くの現象面および対策の面での類似性のあることを示したものである。高橋論文は、従来の都市社会学における町内会論の問題点およびその再検討をするため、さらに那覇市におけるコミュニティ形成の問題を検討するために那覇市における住民組織の特質を調査研究資料から把握しようとしたものである。